

保 発 0405 第 2 号
令 和 3 年 4 月 5 日

都道府県知事 殿

厚生労働省保険局長
(公 印 省 略)

国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払規則例の一部改正について

平素より、国民健康保険制度の適正な運営に御尽力いただき厚く御礼申し上げます。

行政手続における書面規制、押印、対面規制の抜本的な見直しについては、令和 2 年 7 月に閣議決定された「規制改革実施計画」において、「原則として全ての見直し対象手続について、恒久的な制度的対応として、令和 2 年以内に、規制改革推進会議が提示する基準に照らして順次必要な検討を行い、法令、告示、通達等の改正やオンライン化を行う」こととされています。

今般、上記計画に基づき、「押印を求める手続の見直し等のための厚生労働省関係政令の一部を改正する政令」（令和 2 年政令第 367 号）、「押印を求める手続の見直し等のための厚生労働省関係省令の一部を改正する省令」（令和 2 年厚生労働省令第 208 号）及び「押印を求める手続の見直し等のための厚生労働省関係告示の一部を改正する告示」（令和 2 年厚生労働省告示第 397 号）が公布され、厚生労働省が所管する政令、省令及び告示により定められた手続きであって、国民や事業者等に対して押印を求めているものについて、押印を原則不要とすることとしたところです。

これに伴い、書面又は光ディスク等を用いた診療報酬の請求について規則を定める際の参考となるよう、国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払規則例（昭和 35 年 3 月 1 日付け保発第 22 号厚生省保険局長通知）の一部を別添のとおり改正いたしますので、貴管内の国民健康保険団体連合会及び市区町村への周知のほど宜しく願いいたします。